

紙面から

教育随想

「『ごん狐』を読む」

同朋大学教授 畝部 俊英氏

羅針盤

「授業での

インターネット技術の利用」

学習情報指導員 名倉 嘉章

この人に聞く

フライフィッシャー

杉坂 研治氏

特集

「鉄道の安全を守る」

ふれあい

「A子の決断」

山中小学校

加納 里乃

師弟同行

前細川小学校長

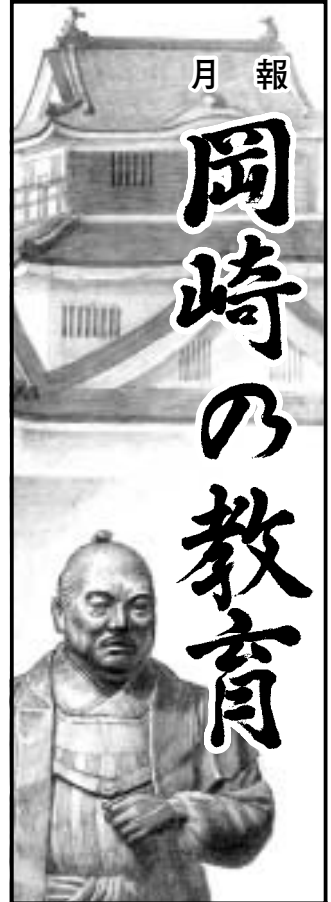
山本 利春

六ツ美中部小学校

鈴木 悟

フォト・ヒストリー岡崎の教育

落ち葉スキー（昭和三十二年）



8月号

平成12年8月1日

発行／編集  
岡崎市教育委員会

今月の学校紹介  
～奥殿小学校～



姉妹校・石垣市大浜小との交流



交流・自然・豊かな心

## - 教育随想 -



## 『ごん狐』を読む

同朋大学教授

畝部 俊英



五月のゴールデンウィークのただ

中、悲惨な事件が連続して起きた。

その中でも、「豊川主婦殺害」「バス乗っ取り」のニュースは日本中を驚かした。そして六月には、「金属バット事件」。今、一七歳に何が起きつつあるのだろうか。豊川の少年は

「人を殺したとき、自分はどんな気持ちになるのか、知りたかった」と供述したという。

これら一連の事件について、さまざまな見方がある。「人と人との関係がゲーム化され、全く人のいのちが見えなくなった出来事」「他者を思いやる心や痛みが欠如」「自然や動物とのつながりの中に生きる人間らしい感情が消え失せた事件」など

など。

ところで、私はたまたま半田市岩滑の「童話の森・新美南吉記念館」を訪れる機会があった。そして、改めて彼の代表作である『ごん狐』を読み直してみた。『ごん狐』は小学校の教科書にも採り入れられていて、誰でも知っている童話である。

物語の筋は、一人ぼっちの小狐ごんの、人間と友達になりたい気持ちが母を看病する兵十へのいたずらとなり、それがためにやるのがすべて裏目に出て、思わぬ方向へと展開たれてしまうというものであるが、その時、「ごん、お前だったのか。いつも粟をくれたのは」と、兵十は

ごんの本当の心を知る。南吉終生のテーマ「生存所属を異にするものの魂の流通共鳴」がここに成り立つ。

『ごん狐』はこれで終わっているのであるが、一九七四年、第七回新美南吉文学賞を受賞された宇野正一先生の『らんかんのない橋』には、次のようなことが語られている。先生が小学校へ奉職された年の冬、たびたび大雪が降る。学校へ行く途中の、らんかんのない橋はいつも雪がきれいはかかれていた。翌年、先生を育てられたおじいさんが亡くなった通夜の晩、隣のおじいさんから、橋に積もった雪はおじいさんが孫のためにはいてくれたことを聞かされる。先生は「知らなかった。あれはほくのためにはいてくれたんですか。すまなかった」と泣いて、おじいさんの愛情に感謝した、とある。

実は、『ごん狐』はごんが主人公の物語であるが、いたずらの償いのために粟や松茸をもってきてくれたのがごんであったと初めて知って、『ごん、知らなかった。あれはおれのためにもってきてくれたのか。すまなかった』と、ごんの本当の心にめざめた、人間・兵十の物語の始まりでもあるように思う。

(うねべ としひで)

授業での  
インターネット技術の利用

学習情報指導員

名倉 嘉章

「Aちゃん、元気ですか。今度、県営グラウンドで会えますね。」

A子は、テレビ会議システムを通して、R中に今春転任された先生から話しかけられる。少しはにかみながらも、彼女はテレビ画面に向かって返事をする。

「今度の総体、絶対勝とう。がんばろうね。」

B子は、友人に向けてEメールを送る。

M中の総合的な学習の時間「海外に友達を作ろう」の様子である。まだ、交流相手は身近な人だが、この活動を広げる形で海外に友達を作り、年間を通じての国際交流をねらっている。

こうしたインターネット技術を利用したEメールやテレビ会議システム



### フライフィッシャー

杉坂 研治 氏

九五年にフライフィッシングの全日本チャンピオン。現在はプロとしてテレビや雑誌の取材、さらには新商品の開発にと多忙な日々を送られている杉坂研治さん。お話を伺った当日も、北海道から戻られロシアへの釣行の準備をされているところであった。

まず、フライフィッシングを始められたきっかけをお聞きました。

「釣りは、幼稚園のころから始めました。小学校や中学校時代は伊賀川や菅生川はもちろんだ釣り堀にまで出かけ、釣り三昧さんまいでした。あまりにも夢中になり過ぎて、担任の

先生から禁止令が出たほどです。そんな折、たまたま家にフライフィッシングの道具が置いてありました。そのころはこの釣りをだれもやっていませんでした。珍しさもあり、雑誌を見てフライを作りやってみたのが始まりです。」

次第にフライフィッシングの魅力に取りつかれていった杉坂さんは、二十歳の時に、アラスカへ単独釣行に。その後もカナダ、アメリカなど国内はもとより海外でも釣行を重ねられるうちに、日本のトップフライマンとなられた。

「フライフィッシングの魅力は、魚の食性を研究し、釣りをイメージしながらフライを作ることにあります。同じ種類の昆虫でも、川によつて大きさや栄養状態などが異なります。だから、現地で食べているものを調べ、フライを作ることもあります。また、新しい発想でざんしんなフライを作り、一匹でも釣れた時には最高の気分ですよ。」

魚の生態を、実際に実験をして確かめたり、様々な情報を集め、実によく研究をされている。

プロとしての感想を尋ねると、「釣りを本業とすると、おもしろく

ありません。それは、どんな状況でも釣らなければならぬからです。特に、テレビの取材ではつらいものがあります。」

「取材よりも、新しい発想のフライ理論に基づき、フライや竿さばを開発するデザイナー業に夢を持っていきます。一大ブームを起こしたいですね。」

たぐいまれな行動力と探求心を持った杉坂さんは、将来のフライフィッシング界を見すえていた。

氏名 すぎさか けんじ  
 生年月日 昭和三十五年十一月五日  
 住所 大門口二丁目二十三ー五



ムは、時間や空間を超えて人と人とのコミュニケーションを可能にする。今後、小中学校でEメールやテレビ会議システムを利用して、質問や意見交換を行って学習を深めていく場面が多くなっていくであろう。

マシンを介してのコミュニケーションはとかく冷たいイメージをもたれがちである。しかし、授業でパソコン操作の得意な生徒が行き詰まった友人にアドバイスをしたり、授業以外でも不登校気味の生徒とEメールでメッセージの交換を行ったり、温かい人間関係を築くメディアとしても注目され始めている。

IT(情報技術)革命は、学校にも押し寄せている。情報発信・交流の手段として、インターネット技術の利用を大いに図る必要がある。

しかし、利用ができるからといっていいことばかりではない。中傷やチェーンメールなど悪質な利用がないよう、ネチケット(ネット上のエチケット)を押さえる必要がある。

\*\*\*\*\*

#### 【推薦する専門書】

『新訂 メディアと教育』

日本放送出版協会

『インターネットが授業を変える』

明治図書

# 鉄道の安全を守る

## 舞木定期検査場

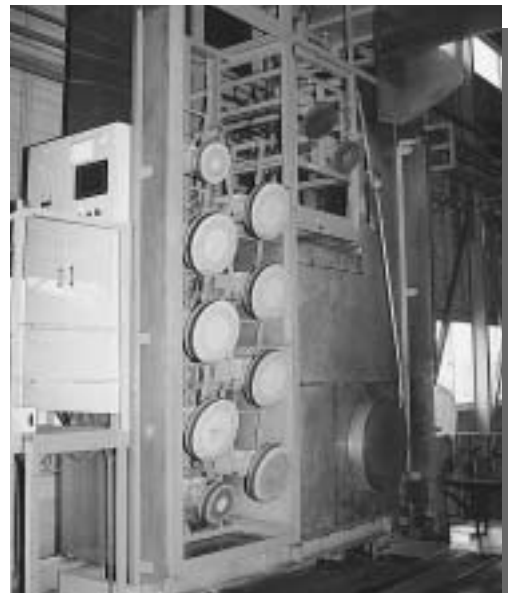
上りの名鉄名古屋本線に乗り、車窓を眺めていると、藤川駅を少し過ぎたあたりで、緑の山間に白い建物がその姿を現す。名鉄舞木定期検査場である。市民の通勤やレジャーの重要な足として活躍している名古屋鉄道。定期検査場は、その車両の整備・点検を行う、いわば列車のドックである。

検査場は、平成九年四月より操業を開始した。それまで列車の定期検査は、名古屋市内の鳴海駅に隣接する鳴海工場で実施されていた。しかし、老朽化が目立ち敷地も狭い鳴海工場では十分な整備ができなくなった。そこで、列車の整備に適した豊かな土地が確保できる岡崎市の舞木町が選ばれ、平成七年三月より二年の歳月をかけて建設されたのである。

検査場に一步足を踏み入れると、その大きさに圧倒される。しばらく構内を歩くと、検査を効率良く行うための最新設備が整っていることに気づく。敷地内で最初に目につくのが大型クレーンである。約二十トンもの車体を持ち上げ運搬する姿は圧巻である。車体を美しく塗装



▲車体をつり上げる大型クレーン



▲愛称「ぶんぶん丸」ポリッシャー研ぎ装置



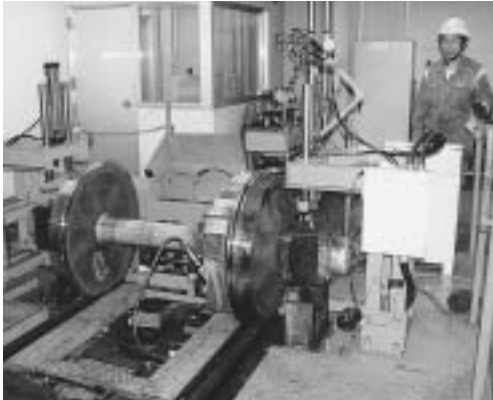
▲検査場の見学で目を輝かせる子供たち



▲取りはずされたパンタグラフ



▲手作業でのモーター点検



▲回転音から損傷をさぐる  
駆動装置回転試験機



▲汚水を出さずに汚れを取る  
ドライアイス洗浄機



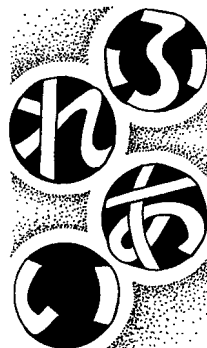
するために必要なポリリッシャー研ぎ装置。これは車体を削り、かすかな傷をつけ、色を付着しやすくする機械である。整備において、最も重要なことの一つは車両の点検である。車軸自動探傷機が車輪にできたわずかな凸凹も見逃さず、きれいに研磨していく。さらに、車軸につけられた駆動装置の汚れをとるために、ドライアイス洗浄機も導入されている。これは全国で唯一の装置で、鉄道界で注目を集めているという。

また、検査場が公害の発生源にならないよう万全な対策をしており、今年六月に国際規格であるISO14001（環境マネジメントシステム）を取得している。

車両の整備というと、一見ダイナミックな印象を受けるが、わずかな損傷や歪みも見逃さず、修正していく繊細な作業の連続である。案内を務めてくれた方は「我々は、見えない部分こそ大事にしていますから。」と語った。鍛え上げられた検査員やハイテク技術に支えられて、安全な運行が守られているのである。



▲最終チェックを行う構内試運転場



### A子の決断

山中小学校  
加納 里乃

「わたし、体育大嫌い。」  
つらいことは逃避しがちだったA子の言葉である。

五月。六年との合同の組み立て体操の練習が始まった。A子が耐えるだろうか。そんな不安は、A子のはつらつとした姿を見て吹き飛んだ。  
しかし、十人組の演技でうまくいかなかった。何度も崩れるピラミッド。A子の組は、一度も完成せずに校内運動会の日を迎えた。

この日、A子は首が痛くて欠席という連絡が入った。そのまま休んだら運動会当日も来られなくなってしまう。心配になり、電話で  
「B子が一緒にピラミッドを完成させたいと言っているよ。」  
と伝えた。



「ちよつと痛いけど頑張ってみる。」  
というA子の言葉を受け、すぐに彼女を迎えに行った。教室に入ると、  
「痛かったら、無理しなくてもいいよ。やれたらやってみよう。」  
とB子が話しかけた。A子は迷わず、  
「うん、やる。」  
と答えた。その声に皆の表情がぱつと輝いた。  
その日、見事にピラミッドが完成した。A子はわたしを見つけると駆け寄ってきた。  
「できたよ。ピラミッド。」  
自信に満ちた顔。  
今でも「体育は大嫌い」というA子である。しかし、同じ言葉でも、逃げずにやると決めてからの表情は明るい。

## 師弟同行

### 厳しく一言

六ツ美中部小学校  
鈴木 悟

わたしが山本先生に担任していただいた中学三年のとき、甲山中に初めて鉄筋校舎ができました。しかし、学年全部が一度に入ることではできず、わたしたちのクラスは、前期に新校舎、後期は木造校舎で勉強しました。  
そのころは先生方のご努力で落ち着いた毎日でした。それでも、ときどき調子にのってプロレスごっこや馬乗りなどをやっていました。

ある日、先生にそれを見つけてしまいました。謝りにかかってしまいました。恐る恐る職員室に行くと、  
「何をしようもないことをやっとなるだ。」  
と一言、厳しくしかられたの



を今も印象深く覚えています。その後も大学生になって遊びに行ったりとき高価な洋酒を振る舞っていたり、教員になつてからも隣の学区で世話になったりと、数々の思い出があります。しかしこのしかられたことが一番心に残っています。  
温かいお人柄で子供を信頼されていた先生の姿を見習って、わたしも精進してまいりたいと思います。先生もお元気で過ごしてください。

懐かしい木造校舎の時代を思い出させてくれてありがとうございます。ちよつと君を担任したころは、鉄筋校舎に移行する時

### 木造校舎のきずな

前細川小学校長  
山本 利春

期で、惜しみながら木造校舎に別れたことを思い出します。

あのころの木造校舎には、ごみだらけの床下に隠れる楽しさや、たまには頑張つてきれいにしないと、などという気持ちを起こさせてくれるものがありました。また、隠れんぼで一時間も見つからなかった子がいたり、天井から一階に降ってきた生徒がいたり、今なら大事件になることばかりでしたね。

君たちがプロレスごっこをしていたことは知っていました。わたしが中学のころもやはり同じことをしていました。今思えば、木造校舎だからできたんですね。そして、先生も生徒もお互いに信頼しきっていたよき時代でした。  
どつしりと落ち着いた、夢や志のある君でしたが、私の欠点を受け継ぎ、遠慮がちな面があったような気がして、担任としては申し訳なく思っています。新しい教育に少しでも悟色さとしを塗り、元気に活躍されることを祈ります。

お知らせ



◆第四十九回読売教育賞  
最優秀賞

・生活科・総合学習

・志兼塾 都築真美子

・地域社会教育活動

・秦梨小 父母教師会

◆平成十二年度緑化推進・  
動物愛護児童生徒作品展

・描画・ポスターの部

市長賞 矢作南小二年 大橋はなき

大樹寺小五年 五十嵐砂弥

城北中三年 深津菜美子

・習字の部

市長賞 連尺小三年 加藤諭美

連尺小四年 行本理紗

附属中一年 宇野勝洋

美川中三年 近藤紗代

◆第二十四回愛知県中学生  
女子ソフトボール選手権大会

準優勝 城北中学校

(西日本大会出場 8/13より)

●第44回岡崎市中学校総合体育大会

水泳競技の記録

★新記録

性	種目	氏名	校名	記録
男	50m自由形	早川和伯	竜海	27"8
	100m自由形	森田達也	城北	59"8
	200m自由形	山田昌亮	附属	★2'07"3
	100m平泳ぎ	高木和裕	竜海	1'13"0
	100m背泳ぎ	尾崎勇	矢北	1'05"6
子	100mバタフライ	澤田隼人	東海	1'05"5
	200m個人メドレー	佐々木学	矢作	2'30"7
	400mリレー	寺田・酒井・江端・森田	城北	4'18"5
	400mメドレーリレー	柳・高木・荒井・早川	竜海	4'38"4
	男子総合	1 竜海 2 城北 3 矢作		
女	50m自由形	林このみ	城北	31"6
	100m自由形	小野田桂子	城北	1'07"1
	200m自由形	田代彩矢佳	城北	2'23"8
	100m平泳ぎ	金山麻由美	矢北	1'23"0
	100m背泳ぎ	鈴木千絵	岩津	1'12"9
	100mバタフライ	川畑愛海	附属	1'14"6
	200m個人メドレー	柴田舞	六北	2'46"0
	400mリレー	斎藤・中並・渡辺・斎藤	竜海	4'34"4
400mメドレーリレー	大原・高田・鶴田・斎藤	竜海	5'08"2	
女子総合	1 竜海 2 城北 3 矢北			

●平成12年度夏期実技講習会

教科・領域	期日	会場	人数
国語(書写)	8.2	井田市民ホーム	50
社会	8.2	中部電力電気利用技術研究所	25
算数・数学	7.28	南中学校	50
理科	8.2	緑丘小学校・緑丘市民ホーム	50
生活	8.1	南部市民ホーム	40
音楽	8.2	太陽の城	30
図工・美術	7.31	おかざき世界子ども美術博物館	40
家庭(小)	8.2	東部市民センター	35
技術・家庭(中)	8.2	常磐中学校	50
英語	8.2	勤労文化センター	70
特殊教育	8.2	美川中学校	45
視聴覚	8.2	岡崎市情報ネットワークセンター	50
特別活動(野外活動)	7.26~28	岡崎市少年自然の家	50
情報教育	8.2	甲山中・城北中	60
学校図書館教育	8.2	おかざき世界子ども美術博物館	90
学校保健	8.2	中央総合公園第1会議室	50

◆ライオンカップ第二十回  
全日本バレーボール小学生大会  
西三河予選大会  
男子優勝 矢作北  
女子優勝 上地小クラブ  
愛知県大会  
男子優勝 矢作北  
◆通信陸上愛知県大会  
三種競技A  
優勝 東海中三年 畔柳 宏平  
◆愛知県中学生相撲大会  
団体戦  
優勝 附属中学校  
三位 美川中学校  
個人戦  
優勝 附属中 森下 弘康  
三位 美川中 加藤 愛貴  
◆親善訪問使節団派遣  
岡崎市は、姉妹都市である  
米・ニューポートビーチ市へ  
今年も中学生親善訪問使節団  
を派遣する。結団式が六月十  
九日に行われた。  
一行は、十月二日に出発し、  
現地の学校や市役所の訪問、  
ホームステイなどを通して交  
流を深める予定。それに先が  
け、七月には当市の訪問団が  
来日し、同様に交流した。  
〈生徒〉福岡中 本間 博康  
東海中 成瀬 友梨  
岩津中 山田 敦郎  
矢作中 早川 亜希  
〈教員〉市教委 内田 義和  
南中 藤田 弘子

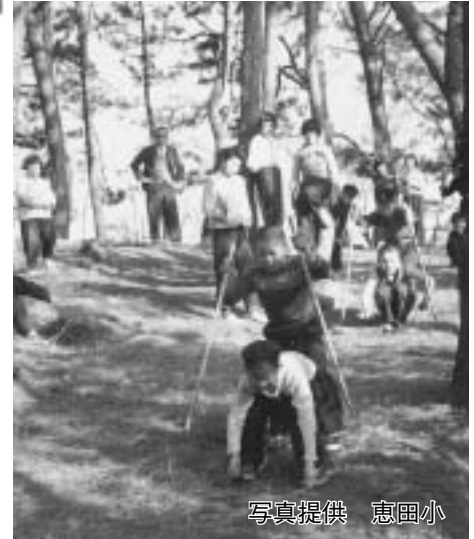


▲平成11年度、ニューポートビーチ市親善訪問  
パンプキンカービングパーティ

・カ  
ツ  
ト  
六ツ美北中 早川周宏



## 落ち葉スキー (昭和32年)



写真提供 恵田小

昭和五十二年「岡崎市少年自然の家」が須渕に開設された。以来多くの児童生徒に利用され親しまれている。なかでも、子供たちに人気のある施設として「落ち葉スキー」があげられよう。

落ち葉スキーは、昭和三十二年に恵田小学校で始まった。豊かな自然を生かした特色ある学校作りと冬の体力作りを目的に、第十八代校長・浅井修先生の発案で実践された。当時は画期的なものとして注目された。

始めたころは竹を割った手作りのスキー板を使用していた。その後、古いスキー板の寄贈が相次ぎ、運動靴でも使用できるように手を加え、利用するようになった。



- \* 「学校」が教えてくれたこと 山田 洋次  
P H P 研究所 ￥1300
- \* 絵本のちから 川西 芙沙  
大和出版 ￥1500
- \* 死ぬという大切な仕事 三浦 光世  
光文社 ￥1300
- \* 日光の東 宮本 輝  
中公文庫 ￥690

- \* 新幹線をつくった男 高橋 団吉  
島秀雄物語 小学館 ￥1800

新幹線は空前のプロジェクトだった。当時鉄道は衰退の一途をたどっており、新幹線建設は賛否両論が激しく渦巻いた。そんな中、当時の国鉄ナンバー2、技師長として新幹線建設を指揮した島秀雄。本書は彼の評伝である。

巨大技術と絶対的な安全性。そして政治。彼はその接点に立ち続けた。

開業以来三十五年間の高い安全性に触発されて、フランスもドイツも新幹線の開発に乗り出していったのである。

岡崎にも情報公開条例が施行され一か月が経った。情報公開は、社会の要請であり、教育の現場も例外ではない。しかし、何も憶<sup>おく</sup>することはない。いつも確かな記録に基づく公正で客観的な判断をしているのだから。

我々はプロである。

### シ オ ス ア

しこを踏むちびっこ力士。公園の一面に作られた土俵は、地域の人たちの歓声に包まれる。子供会で教えてもらった盆踊り。やぐらの上で踊る子供たちの姿が、どこか誇らしげに見える。

夏休み、子供たちは地域にかえって地域に育てられていく。

愛情あふれるまなざしが温かく車両を包み込む。列車という機械を相手にする検査場の技師。そのひとみには、我が子を見つめるような優しさがある。

真心は機械にも通じるのだろう。検査場を歩く中で、車両がふつとほえんだ、そんな気がした。

スタミナ不足が影響してか、暑さのこたえる日々が続く。そんな暑さをものともせず、照りつける太陽の下、子供たちはグラウンドを走り回り、プールで歓声をあげる。夏バテ気分を一掃する子供たちの元気な姿や声に刺激を受けて新たなファイトがみなぎる。